



タイム・トラベラー
石山 透
大和書房
(2/29刊・¥990)

福島、浅倉、深町の出てくるジュヴナイル
ってなんでしょうか。正解——「時をかける
少女」です。映画版のあやかりでもないのだ
ろうが、こちらは、NHK少年ドラマ版「タ
イム・トラベラー」脚本集(正・続両篇)で
ある。

なんと十二年も前だったんですね、このT
Vドラマ。七二年にはじまったシリーズの第
一作が「タイム・トラベラー」——しかし、
映画版と同様、このドラマも主人公の人気
(島田淳子＝浅野真弓)が大きくものをいう。
美人でしたね、たしか。物語自体は、あらた
めて取り上げるまでもない。ラベンダーの香
りを嗅ぎ、時を越えて、跳ぶ、ことを憶えた
少女と、未来人ケン・ソゴルとの交流。エビ
ソードそのものは、たあいなし、タイムパ
ラドクスの処理もありふれているけれど、時
間と青春——初恋をからませた雰囲気は、そ
のまま映画に引き継がれていく。

脚本だけを読んでも、おそらくあまりピン
とこないだろう。本書の場合は、十二年前に
放映されたドラマを思い出しながら、やはり
評価すべきものなのだ。